

京都を散策して



石川 清助 沈陽フューチャーズ会長

宮本武蔵が吉岡一門と決闘したという「一乗寺下り松」からの坂は、観光客も多いところだ。詩仙堂も観光客で狭い部屋が、いつもいっぱいです。

わが石見銀山



山本 尚之 三児商事副会長

この地方の人口は三十万人余といわれています。大変な賑わいがあります。半面、坑内で働く鉱夫たちは、たいまつやカンテラの油煙で肺を侵され、いつも落盤の危険に身をさらし、三十歳まで生き延びると、「男三十、赤マツマ」で祝ったそうです。

プラス思考



伊藤 進 コムテックス社長

子供のころ、伝記に刺激されて、あんな人になりたい、こんな生き方をしてみたい等と希望に夢を膨らませたものです。最近では英傑伝や出世物語のたぐいが好まれなくなっているような気がします。

鎧橋随想



小山内 博朗 コスモフューチャーズ社長

先物業界には九州出身で東京に攻めのぼつてきたひとが多くいますが、私のように北海道出身で南下し、九州に至った例は少ないのではないのでしょうか。

日本経済の成長神話が崩れ、将来を悲観する見方はかりが目立ちます。日本人はマイナス思考にとりつかれ、プラス思考を忘れ去ったのではないのでしょうか。

板寄せ法の場合には面白くありませんが、板寄せセラバ折衷法の場合には、「こ

拜見・サンワード貿易野球部 ベスト8を目指す

菅野和己



菅野和己

サンワード貿易野球部の練習は半端ではない。二月一日、北海道神宮に参拝したあと、三月十日まで室内練習が続く。三月十一日から沖繩に入り、横浜ベイスターズが去ったあとの球場で猛練習が始まる。四月は千葉県鴨川にキャンプ地を移し、関東の社会人チームとのオープン戦もこなす。



守りの要(昨年西武ライオンズ)

「健全なスポーツ活動に よって社会の共感をいただくき、期待される企業像を打ち立てよう」

木曜日は日経朝刊に注目

○：当協会提供の突き出し広告が話題を呼んでいます。今年一月から毎週一回、日本経済新聞朝刊の国際面に掲載、今年いっぱい続く予定です。

○：継続は力なりと申します。先物ファンの発掘と拡大を目指して、タレントの発掘と広告文の積極的な振興策の一環として、この新企画に踏み切りました。

○：第一回は「一家勝明会長自ら登場(写真)」、二月からは三回ずつ、経済ジャーナリストの田嶋智太郎氏、三原淳雄氏、木村佳子さんがひと役買ってくださいます。

証言・戦後先物史 東穀と私(4)

東京穀物商品取引所相談役 石田 朗

月の理事会で米産の別建て上場に踏み切り、標準品として「I・O・M選別品袋詰め」を標準品に据える案をまとめると、賛否両論が噴出します。

米産大豆の別建て上場

石田 朗 昭和三十九年三月一日から米産大豆が別建て上場されたが、それまで輸入大豆は中国産大豆未選品を標準品とし、米産大豆I・O・M選別品は一定の格差をつけて受渡しに供する仕組みになっていた。



米産大豆別建て上場記念パーティー

石田 朗 引き続き「どうもろこし」の上場の検討が進められて行きます。ただ、その実現は私が理事長をやめた後になって、法律が改正されて、試験上場が制度化されてからのこととなつたわけだ。